**研究計画書作成のために**

　金融戦略・経営財務プログラムにおいては、講義科目は基礎的・専門的な知識と方法論を体系的に身につけるためのもの、演習（ゼミ）は講義で培われた基盤の上に各自の研究を進めるためのものと位置付けられています。博士後期課程においては、当面、演習（ゼミ）を中心に研究・教育を行います。本プログラムを志望するにあたり、あなた自身の研究計画について現在のお考えをお書きください。研究テーマは、理論から実践まで何でも構いませんが、ポートフォリオ運用、財務戦略などの実践に結び付けるところまでお考えください。

　研究計画書は表紙1枚（ページ）、内容10枚（ページ）、合計11枚（ページ）とします。提出論文等の添付資料は枚数に含めないでください。作成にあたっては原則としてパソコンを使用し、A4用紙縦に横書き、日本語でお書き下さい。活字の大きさは12Ptとします。

　第１次審査（書類審査）の重要な部分ですので、以下の要領に従い、お考えの研究計画や目標ができるだけ正確に伝わるようにお書きください。

**表紙【第1ページ】**

 表紙には、研究したい内容の題目（１行以内）、その下に志願者本人の名前、さらにその下に研究したい内容の要約（10行以内）を記してください。

**第1章　研究テーマ【第2ページから第5ページ】**

　第1節：研究のモチベーション

　　選択したテーマを研究したい理由と背景を説明してください。

　第2節：既存の研究の要約

　　研究テーマに関する既存の研究結果の紹介と概略を説明してください。

　第3節：研究したい内容

　 (1) 研究対象の何を明らかにしたいのか

　 (2) その問題にどのように取り組めば良いと考えるか

　　(3) この研究が既存の研究にどのような新しい知識を加えることになるのか

 等を具体的に説明してください。

　第4節：研究成果の利用法

　 　理論から実践まで何でも構いませんが、ポートフォリオ運用や財務戦略等の実践にどのように結び付けていくか、できるだけ具体的に説明してください。

　第5節：これまでの活動

　　その研究のために、あなた（志願者）がこれまで行ってきたことを説明してください。

**第２章　研究に関する文献【第6ページ】**

　第1節：第1章で既存の研究として挙げた本・論文のリスト

　第2節：これまでの研究活動で読んだ本・論文のリスト

　第3節：今後読まなければならないと思っている本・論文のリスト

第３節で挙げる本や論文については、それらから具体的に何を学べると予想されるかについても簡単に書き添えてください。

**第３章　研究に使用したいと考えるデータ・設備【第7ページ】**

　　研究テーマとの関連と利用法を明らかにしながら、使用したいと考えるデータ・ソフトウェア・設備などをできるだけ具体的に説明してください。

**第４章　論文及び報告書【第7ページ】**

　　いままでに書いた論文の中から、学術雑誌や本に掲載されたものか、そうでなければ特に優れているとお考えのものを選び、それらの題目と要約を記してください。学術雑誌記載の場合は、査読付きと査読無しの区別を示してください。また、本章に記載した論文のコピーを研究計画書に同封し提出してください。ただし、学士論文や修士論文の場合は論文そのものではなく、代わりにA4用紙に12Ptで１ページ程度にまとめた要約を提出してください。

**第５章　基礎知識と構想（ビジョン）【第8ページから第10ページ】**

　　この章は、あなた（志願者）が、本プログラムで研究を進めていくために必要な一般的な知識をどれだけ持っておられるか、また上記研究計画の背景にどのような構想を抱いておられるかを理解するためのものです。
 記載事項に基づき研究指導のプランを作りますので、得点等に関する自己申告部分の記載に誤りがある場合は、入学後、勉学・研究の進捗に障害をきたし、双方の不利益となりますので、出来るだけ正確にお書きください。

(1) 英語の力はどの程度ですか？ 英語で書かれた本や論文を読みこなし、英語で議論することができるでしょうか？ そのような経験がありますか？ 海外勤務や留学の経験がある場合には、勤務・留学先、期間、内容等について簡単に記してください。また英検・TOEFL・TOEIC等の試験を受けている場合には、その点数を書き、可能ならば得点表のコピーを同封してください。
さらに、購読している英文雑誌があればそれを記してください。

(2) 数学の力はどの程度ですか？ 充分読みこなした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した数学科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務に数学の知識を直接・間接に役立てている場合には、その数学の分野の名称と、利用する本の書名と著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

(3) 統計学、データ分析はどの程度勉強しましたか？ 充分読みこなした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した統計学、データ分析の科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務に統計やデータ分析の知識を直接・間接に役立てている場合には、その統計学の分野の名称と、利用する本の書名と著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

(4) 金融や経済の勉強はどの程度しましたか？ 充分読みこなした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した金融や経済関連の科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務にこれらの知識を直接・間接に役立てている場合には、その金融論・経済学の分野の名前と、利用する本の書名・著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

(5) コンピュータはどの程度利用できますか？ よく使うソフトウェアの名称とその利用方法、さらにそれらのソフトに関するあなたの評価を具体的に記してください。また、いままでに利用した、金融統計データ分析や金融実務に関するソフトウェアを記し、何にどの程度利用したか具体的に書いてください。

(6) あなたが得意とするもの、またこの金融戦略プログラムに自分が如何に適しているかについて、自分で申告したい事柄を自由にお書きください。

(7) あなたは、社会人あるいは学生として、どのようなことをどのようにして達成しましたか？ 具体的に記してください。金融に関係なくても構いません。

(8) あなたが現在の職業（大学院生も含む）を選んだ理由はなんでしょうか？

(9) あなたは、本プログラムを卒業後、どのような進路を考えていますか？ 研究者（大学、研究所等）となる、実務家として働く（同じ会社に戻る、別の会社に移りたい、自分で会社を作りたい等）、行いたい仕事や作りたい会社の内容を含め、構想を具体的に説明してください。

(10) 変革期にある現代、これから世界はどのような方向に向かって行くのか、その中で日本はいま抱える問題をどのように解決して行けば良いのか、そしてその場であなたはどのような役割を担いたいと考えるのか、お考えを簡潔に論じてください。

(11) 最後に、音楽、絵画、彫刻、建築、文学、哲学、スポーツ等、あなたが興味を持ち、評価するものがあれば、簡潔に記してください。

**第６章　その他【第11ページ】**

　　以下の質問に簡潔にお答えください。

(1) 演習での指導は必ずしも単独指導ではなく、集団指導であることが予想されます。特に指導を受けたいと思っている教員名とその理由を挙げてください。

(2) あなたは、この博士後期課程金融戦略・経営財務プログラムで、あなたの求める勉強が充分できると思いますか？ 不足するとお考えの点があれば、お考えの理由とともにお書きください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上